

目的

単一の色相であっても彩度の差によって色を強調できるか検証する。

用語

色相...色の色味(赤、青、緑など)

彩度...色の鮮やかさの度合い

方法

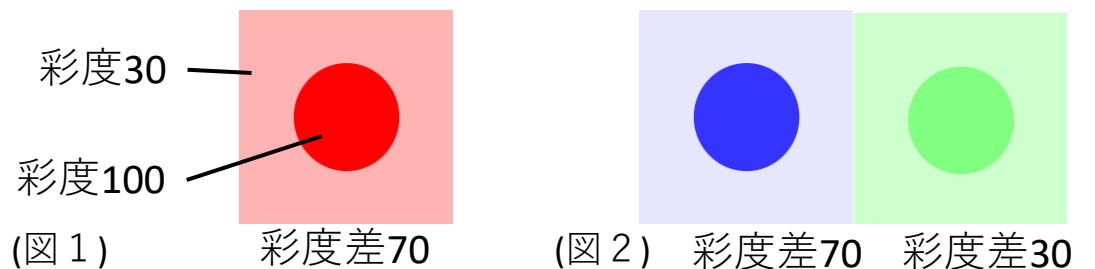
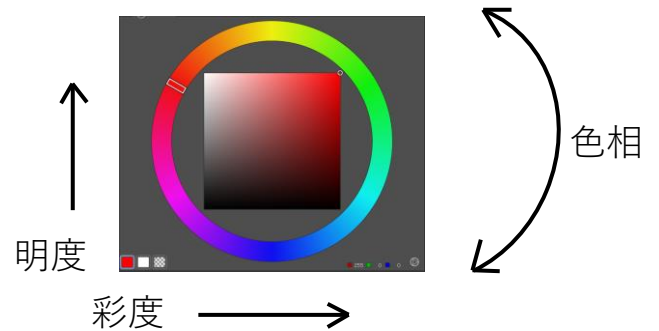
1.

光の三原色、赤#ff0000,緑#00ff00,青#0000ffの彩度を調整してアンケートを行う。
三色それぞれで彩度差が10,20,30...100となるように(図1)の様な図を10種ずつ用意し、
同じ色相または同じ彩度差にならない様に二つの図を比較する質問を行う。(図2)
(一つの図を二回ずつ使用した30通りの質問)

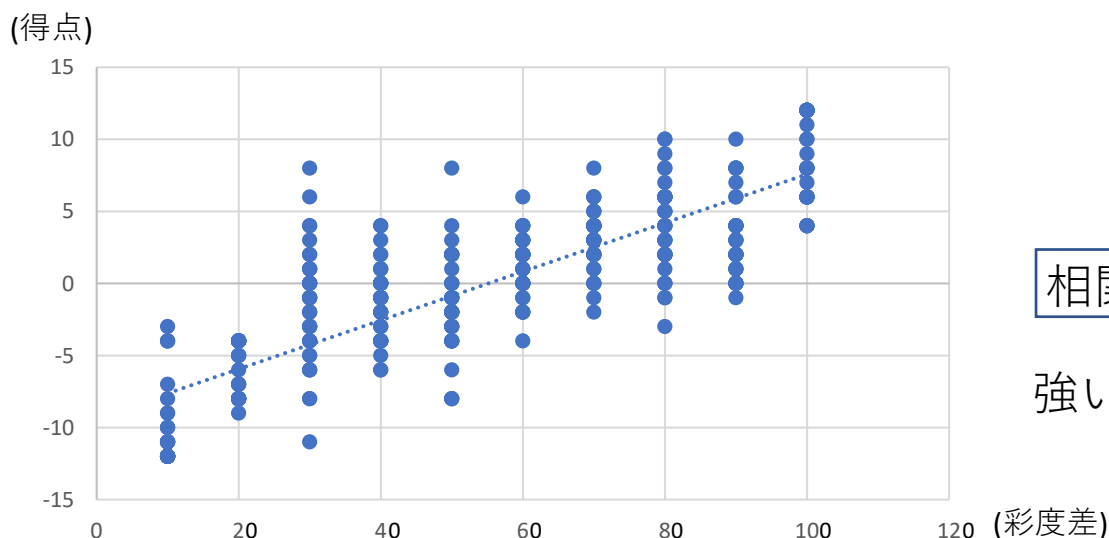
中心の円が、よりはっきりと見えた方に2点、見え無い方に-2点、どちらかと言えば
はっきりと見えた方に1点、見え無い方に-1点、同じくらいであれば互いに得点なし、
として集計を行う。

2.

各回答者から各彩度差について6つずつ得られた得点を合計し、その合計点と彩度差
についてExcelを用いて相関係数を求める。



結果



相関係数0.837008

強い正の相関が得られた。

考察

単一の色相でも彩度を調整することで色味を強調することができる。